

2025(令和7)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業 若年性認知症本人交流会・本人ミーティング「同士の会」 報告書

目的：若年性認知症の本人同士が自らの体験や希望、必要としている事を語り合い、自分達のこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場づくりを目指す。

同士の会の特性

- ・ 孤立する県内の若年性認知症の本人同士で交流会を開催し、お互いの悩みについてのピアサポートの場とする。
- ・ 本人一人ひとりの意見に注目し、認知症施策に活用・反映されるよう意見をまとめる。

1. 日時：2025年4月18日(水) 12時～15時30分

【会場】 ファーストフード店舗

※本人同士で話し合い、開催日時・場所を決定しています。

2. 参加者数：合計 5名（内訳：本人 3名、支援者 2名）

4. 当日の様子

今年度初の同士の会の開催となりました。

月に一回の集いを心待ちにしての参加であり、顔を合わせた時の笑顔が眩しく感じました。昼食を何にするのか？話し合いながら飲食店の前を回り、買い出しへ。昼食を摂りながら、普段の生活の様子を情報交換開始となりました。暑さも加わると歩いて集合場所へ来ることの困難さもあり、送迎が必要という本人からの声もあり支援者側が送迎を担って開催となりました。

会場到着早々に、宝くじ売り場に直行して、宝くじを購入する0さん。「今日みたいに売り場があって、宝くじを購入するチャンスがある時には買うようにしている」と普段の関りでは見れない姿がそこにはありました。日頃の生活の様子をお互い質問しあい、運動や筋肉トレーニングの内容に至るまで、色んな話題が飛び交い、あっという間に楽しい時間は過ぎる…そんな大切な時間となりました。

同士の会を終わってから、コーディネーターと一緒に企業に就労の相談で出向く予定がMさんとあり、市外から参加の方のご家族が0さんを送り届けてくれることとなりました。仲間からMさんへ企業のお仕事の応援・後押しがあり、今月の会は終了しました。



以上